

第11回 第1分科会会議録（概要）		場 所	新宿区戸塚特別出張所 地下1階集会室
日 時	平成17年11月21（月） 午後2時00分～午後4時00分	記録者	【学生補助員】 田多井さやか 古谷聡子
		責任者	区事務局（並木）
<p>会議出席者：22名 （区民委員：21名 区職員：1名）</p>			
<p>■配布資料</p> <p>① 新宿区民会議 第1分科会（第11回）次第 ② 第10回会議録 ③ グループ別キーワード抽出表 ④ 第6回「新宿まちづくり学」講座お知らせ</p> <p>■進行内容</p> <p>1 本日の進め方 2 各グループ討議 3 その他（事務局）</p> <p>■会議内容</p> <p>【発言者】●：区民委員、◎：学識委員、○：区職員</p> <p>1. 本日の進め方</p> <p>○：（並木）</p> <p>それでは、定刻となりましたので、第11回の第1分科会を始めさせていただきます。</p> <p>まず、配布資料の確認ですが、まず1枚目に次第（資料①）があります。次に、前回の会議録（資料②）、次に「グループ別キーワード抽出表」（資料③）があります。こちらは、今まで行ってきた全10回の区民会議での各グループからの発言及びグループ発表において発表された中からキーワードとなる言葉を抽出したものです。各グループの検討の参考にしてください。最後に「第6回新宿まちづくり学講座のお知らせ」（資料④）です。前回は口頭でご案内しました件です。学識の汐見委員がこの講座で講演されますので、是非、第1分科会の委員として参加していただければと思います。</p> <p>次に、今日の進め方ですが、各グループのレポート作成に向けた討議が中心となります。前回欠席された委員は、本日お配りした前回の会議録にレポート作成の進め方についても書いてありますので、参考にしてください。このレポートは11月28日までの期限として、作成されしだい事務局に提出してください。レポートの枚数ですが、特に指定はありませんが、資料やグラフがなければ1～2枚程度、ある場合は3～4枚程度が</p>			

適当だと思います。

それでは、グループ討議を始めてください。

## 2 各グループ討議

—進行状況発表—

○：(並木)

時間になりましたので、各グループから本日の進行状況についてご報告をお願いします。

### (1) 環境グループ

●：(森田)

提案プロジェクトのプロセスデザインについての具体的検討を行いました。政策提案グループをNPOもしくは第3セクターで組織し、それを中核に行政、NPO、大学等とネットワークを結び、小さい地域を立ち上げるプロデュースを行います。ここでは地域で行う具体的なプログラムや子どもをどのような方法でまちづくりに参画させるのかのアイデア等をつくります。まずはテストケースから始めていきます。次回のレポートでは、概念図としてまとめたいと思います。イメージとしては、コンビニエンスストアの本部が都市づくり組織として機能し、各ストア(支店)が各地域の活動母体という感じです。

### (2) 地域グループ

●：(高山)

前回発表したことをレポートにまとめます。現状・課題等を整理し資料を集めました。それを文章化し、事務局に提出します。今日はグループの中で、欠席された委員が多かったため、欠席した委員とも連絡をとり、ひとつにまとめたものをレポートにしたいと思います。

### (3) 小中学生グループ

●：(野原)

「開かれた学校」という大きなテーマを中心に、学識委員や他グループの委員からいただいた意見・提案を合わせて、7項目の小テーマをとりあげ、各自、レポートを作成するという形にしました。7項目としては以下のとおりです。

- ・スクールコーディネーターの活動の見直し
- ・人材バンクづくり
- ・学校評議委員制度のあり方
- ・教員の資質の向上

- ・学校を利用した子どもの居場所づくり
- ・学校選択制の問題点
- ・学校図書の効率的活用のために

#### (4) 乳幼児グループ

●：(小原)

仮テーマとして「3歳以上の居場所づくり」としました。今まで出てきたキーワード、3歳・居場所・空き教室・地域・世代間交流・親の子育て力アップ、を念頭に置いて、既存の子育て施設でも、3歳以上の子どもたちまで利用できるように広げていこうと思っています。内容は単に安心して子どもを遊ばせるのではなく、親も一緒に遊べるような居場所にしていこうと思います。一方で、子どもも3歳以上になれば、親は子どもと離れることも大切です。離れている間にも、子どもの成長を感じることができる瞬間が必要だと思います。また、週1、2回の3歳保育を行い、そこに子どもを預けている時間を利用して、親がリフレッシュするだけでなく、子どもと離れたときに親にも何か学んでもらおうと思っています。区民と行政の役割としては、空き施設の活用です。その空き施設の内容によって(公園、幼稚園の空き教室、廃園になった跡地、などの違い)、特性を出していければ良いと考えています。

#### (5) 親ステップアップグループ

●：(上野)

課題を3つに分けてみようと思います。

1. 親にこれからの人たち(=親予備軍)には、親になるための心構えとして、「不安にならないように」、「ストレスをためないようにするために」ということを図解や絵で分かりやすく作成しようと思います。
2. 地域や他の子育て中の親の集まりに参加できない親のためには、子育ての知識や情報を知ってもらうために「おせっかいの本」のようなイメージの本を発行し、知ることの大切さを伝えます。
3. 地域や他の子育て中の親の集まりに参加できる親には、参加型の講習会等を企画します。教わりながら、教えながらということで、親に手を伸ばしていこうという方向で話し合っています。次回、表、図にしてお渡しできると思います。

#### (6) 青少年グループ

●：(山田)

私たちのテーマは他のグループと違って、青少年の年代に向けての政策が少ないため、現行の政策がない段階から新しくつくっていかねばならないという課題を抱えています。ないものをどうつくるかというアプローチから考えなければいけません。例えば、

ジュニア市民会議を学校にどう呼びかけていくか。若しくは、青少年に対しての話し相手として、少し年代が上のお兄さんお姉さんが必要なのですが、その際には、高校生と大学生のリンクをどのようにしていくかという点に関しての具体的な検討をしました。

もう一点は、居場所づくりとして、会議のできる場所は将来的にはあった方がよいという観点から既存の施設の活用を考えました。例えば、新宿中央公園の環境学習センターは運営委託を平成18年度から三年間募集しています。そういった動きが新宿区でも少しずつ出てきていますが、そこにもいろいろな制約があって、それを運営するというのは並大抵ではないという苦労話を聞いています。また、それが親子のコミュニケーションの場になるのか検討が必要です。さらに、環境学習センターでは、環境についての活動しか認められておらず、広がりをもたせられないことがもったいないと思います。現状とそこに参加することが可能かどうかという点もあります。例えば環境学習センターの一部をジュニア市民会議に開放してはどうかということです。今は、場所が欲しい人と場所があって使ってほしい人が同時に存在しています。それは区の管轄によって用途が分けられてしまうところに問題があるような気がします。地域を拠点とする活動であるのならば、複合テーマで活動できる場所が、今後必要になると考えました。

○：(並木)

ありがとうございました。

事務連絡をいたします。次回の日程をご説明します(下記参照)。最近はお託児のご希望がありませんが、希望の方は会議の1週間前までに事務局にご連絡ください。

もう1点、これはご相談なのですが、中間発表会に向けて、リーダー会の際に意見として出ました保育園にお子さんを預けている父母に対するアンケート等ですが、もし、アンケートをとるのであれば、早急にアンケートグループを立ち上げなければなりません。その件について、リーダーを中心に考えてもらえないでしょうか。こういったアンケートの内容にするか、いつ頃行うのかなど検討することは多いと思います。

●：基本的に「働き方の問題」が検討のテーマに出てこないということは、第1分科会のメンバーの中にもともと問題意識がなかったためです。ですから、現場の意見(働く親の意見)を知りたいという思いからアンケートを考えました。真実味のある検討をしたいという思いから、アンケートを考えました。

●：今は、どのグループもアンケートをきちんと取るまでの余力がないのが現状です。外部のオブザーバーに委託するなどの方法も考えられます。

●：基本的に第1分科会として、提案を発していくことが必要と思います。

○：(並木)

事務局だけでアンケートを取るということは、区民会議の性質上できませんので、どうしても委員を中心にした活動という形になります。

もし本当にアンケート調査を考えているのなら具体的に動き出さないといけない時

期には来ています。各グループリーダーを中心に検討しておいてください。

次回以降日程

**第12回**

日時：平成17年12月1日（木）

午後6時30分から午後8時30分 予定 （夜間）

場所：新宿区戸塚特別出張所 地下1階集会室

**第13回**

日時：平成17年12月13日（火）

午前10時30分から午後12時30分 予定 （昼間）

場所：新宿区戸塚特別出張所 地下1階集会室